

生横濱

今年もありがとうございました

教祖百四十年祭の年祭活動2年目も余すところ残り少なくなりました。今年は元日から能登半島に大きなふしをお見せいただきました。多くの尊い人命が奪われ、命が助かつても生活の場所である家を奪われ、避難所で難渋な生活を強いられ、やっと仮設住宅に入居できたと思つたら、追い打ちをかけるように豪雨の災害にも見舞われました。私も幾度となく災救隊のひのきしん活動として被災地に赴き、

立教187年
12月号
(通算第286号)

発行者
天理教生横濱分教会

被災された方々と触れ合う機会を頂戴しましたが、とても筆舌に表せきれない御苦勞の中をお通り下されている事に大変心を痛めました。

ただ、私達お道の者は単に気の毒だという思いを持つだけでなく、今一度『諭達第4号』を引用して、こうしたふしに出会ったときの心の持ち方を学びたいと思えます。

今日、世の中には、他者への思いやりを欠いた自己主張や、刹那的行動があふれ、人々

は、己が力を過信し、我が身思案に流れ、心の闇路をさまよっている。

親神様は、こうした人間の心得違いを知らせようと、身上や事情にしろしを見せられる。頻発する自然災害や疫病の世界的流行も、すべては私たちに心の入替えを促される子供可愛い親心の現れであり、てびきである。一れつ兄弟姉妹の自覚に基づき、人々が互いに立て合いたすけ合う、陽気暮らしの生き方が今こそ求められている。

心はからずも持つてしまふ「心得違い」を、心静めてよく思案し、反省し、明日へと繋げていくことが、被災地で難儀し

ている方々の苦しみを無駄にしない通り方だと思わせていただきます。

今年も生横濱分教会の上に色々とお心遣いいただきましてありがとうございます。迎える年祭活動仕上げの年に、一つでも二つでも、教祖にご安心いただき、お喜びいただける通り方を模索して実行させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

会長

「私にとっての年祭活動」

皆様もご存知の通り、私は天理教の信仰家庭に生まれ育ち、信仰は私で3代目になります。自宅にはお社が祀られ、講社祭は毎月行われてきましたので、

天理教の教には慣れ親しんできましたが、あまり熱心な信者ではなかったように思います。

教会へはかなり長期にわたり参拝に行かなかったですし、自ら求めて教理を勉強したり、実践するようなこともありませんでした。ですので、おやさまの年祭が10年毎に行われることは知っていました。が、三年千日の年祭活動についてはその概念も意義も全く分かっていませんでした。

そんな私でしたが、今までで一度だけ年祭活動を一生懸命頑張った事がありました。それは今から10年前の130年祭へ向けての年祭活動です。その理由は母の身上が良くなってもらいいたい

という切なる思いからでした。

私の母は130年祭へ向けての年祭活動が始まる半年くらい前に慢性腎臓病と診断されました。もともと母は私が9歳の時に大動脈炎症候群という難病にかかっていた、その病気の合併症として慢性的に悪くなってしまうたと思われます。

慢性腎臓病に一旦かかると、腎機能の回復は見込めず人工透析を回避するためには、腎機能の悪化を遅らせることしか方法がないそうです。そのため栄養士さんの指導の下、腎臓にできるだけ負担のかからない食事療法を始めましたが、私はそれだけでは不安で、神様が働いてくださるような、お喜びくださるようなことをしなければいけない

いという衝動にかられました。

しかしながら、具体的に何をしたら良いのか分からず、時間ばかりが過ぎ、悶々としているうちに論達第三号が發布されました。論達第三号を何度も読み返すうちに私はある一節にとっても感銘を受けました。それは、

「心の拠り所を持たず、先の見えない不安を抱える人々に、真実のをやの思いを伝えて世界をたすけることは、この教えを奉じる者の務めである。」という所です。

特に「先の見えない不安を抱える人々」という部分が、母の身上でとても不安な気持ちで毎日を過ごしている私と重なり、私と同じような思いでいる人達に親神様のご存在を知らせて安

心してもらいたいと考えました。

そんな時に平塚の駅ビル前を偶然通りかかるとお一人で十二下りを踊っている先生をお見掛けしました。その時は邪魔をしては申し訳ないと思い、話しかけることはしなかったのですが、後日、その先生の教会まで尋ねに行き、私の胸のうちを伝えました。すると、その先生は、私と一緒に十二下りをしてみないかと提案して下さいました。私は一瞬躊躇しましたが快諾させていただきました。

駅ビル前の十二下りは月に2回ずつ行われました。何か異様なものでも見ているような眼差しのひとや、何の意味があつてこんなことをしているかと思議そんな感じで通り過ぎる人は

いても、立ち止まって真剣に聞いて下さる方は全くいませんでした。



しかしながら、青く澄み切った大空を見上げながら歌い踊っているときに、ふとおやさまの事が頭に浮かび、きつとおやさまはお喜び下さっているに違いないと思うと、自然に勇み立って明るく陽気につとめることができました。母も私が帰宅すると、今回はどうだったとか聞いてきて、とても喜んでいて様子でした。そんな母を見ると、私も更に嬉しくなり、次も頑張ろ

うという気持ちになりました。

そして10年の月日がたち、今は140年祭へ向けての年祭活動のさなかです。その2年目の今年1月に母は慢性腎臓病による尿毒症を発症して85歳で出直しました。私は自分の生活基盤を整えることと、新しい環境に慣れることに精一杯で今までのところあまり活動ができていませんでした。しかしながら、佑人君の力をお借りして、少しずつですることができるようになってきましたので、残りの1年1か月、あまり気負わずに自分のできる範囲でにいがけ・おたすけに頑張りたいと思います。

比企 靖章

兵神大教会

教祖140年祭 年祭活動の方針



教祖のひながたを手本に 「明るい心」で通りきろう

【実践目標】

一、身上おたすけ

身上のたすかりを願って動き、
親神様・教祖のお働きをお見せ頂こう

一、人だすけ

人のたすかりのために自分の時間を使おう

ご報告

・教区青年会ひのきしん隊入隊

11月15～17日、教区青年会がひのきしん隊に入隊し、生横濱からは佐々木匡理、佑人が参加させていただきました。



・関東兵神会おつとめ総会

11月17日、東京の神本分教会を会場に関東兵神会のおつとめ総会が行われ、関東に住む兵神につながる信者さん約80名が参加しおつとめを勤めさせていただきました。



・お願いづとめの御礼

先月入院し手術を受けた太田晃将さんは11月22日に無事に退

院しご自宅に戻られました。

皆様をお願いづとめに込めた誠実を神様がお受け取り下さり、日に日に快方に向かっています。お願いづとめをお勤め下さりありがとうございました。

・カレーの日

12月の御霊祭後、カレーを提供させていただき、来られた方々と共においしいカレーを頂戴しました。

・みんなの食卓

12月8日、「みんなの食卓 Kitchenあんぶれら」がフードパントリー、クリスマス会を開催し、ビンゴや射的、パフェ作りなど親子そろって楽しんで帰っていただきました。



お知らせ

・教会大掃除

12月15日、9時より教会大掃除をさせていただきます。

30分や1時間でも構いません。

教会でのひのきしんで気持ちいい汗を流しませんか？

お待ちしております。

・おせち団参

1月4、5日の日程で、ご本部のおせちを頂戴しに教会から車を出させていただきます。

新年を無事に迎えられた御礼をしにおちばに帰りませんか？

皆さんのご参加をお待ちしております。

・元旦祭

新年1月元日、毎年恒例の元旦祭を10時より執り行わせていただきます。

旧年を無事にお連れ通りいただいた御礼と、新年を迎えさせていただいた喜びと感謝を神様に申し上げます。

おせち料理の直会も準備させていただきます。ぜひ御参拝にいらしてください。



今月の予定

12月										1月
11日	11日	15日	16日	22日	23日	26日	30日	31日	1日	3日
生横濱月次祭	益元家講社祭	教会大掃除	生田川月次祭	康靖家講社祭	雅敏家講社祭	大教会月次祭	ご本部月次祭	元旦祭準備	元旦祭	生旭春季大祭
										邦明家講社祭
										おせち団参
										太田家講社祭
										比企家講社祭
										生横濱春季大祭

立教百八十七年十一月月次祭祭文

と界心心き勇祖し隊青とも一十下実が物月にな同柄のに添くしに旬親慎神こ
共が定でて心百た教年うの番月さのおを次且れ呼に吉勤わ、へお刻神ん天れ
に一め通くを四。区会ご方嬉かい状う供祭つる吸あ日めせ勿と現限様で理の
謹日をりるも十そ訓総ざにしらまをたえを陽よをたは励て体おれのに申王神
んもお切事つ年し練会い揃か十すもを今執気う合り、まいな導に到はし命床
で早受らをて祭てな、まつつ一よお唱日りに教わまこせたいきな来、上のに
おくけせ真、年勇ど教してた月う受和の行勇祖せすのてだ限下りと世げ御お
願実取て正今祭んに区た参のにおけし日わんよ心の名いけりさ、共界ま前鎮
い現りい面一活で生女。拝は掛願取一をせでりをで称たるでいたに一すにま
申し下たか度動つ横子他し御けいり心楽てつお一只のだよごます、れ。天り
しまさだらおもと濱青にて本て申下にしいと教つ今理いうざすけ教つ。理下
上すいき受の年一めか年もい部様しさつみためえにかにて心い御一祖を。教さ
げよまたけれ年さらの、た秋々上いとにださい揃らおおがま慈条をた。生い
まうしい止の余せもこよだ季なげまめ寄きせたえお許りけす愛のやす。横ま
すにてとめ心りて参かうけ大出ましさりまでだてつしま、。の道しけ。濱す
。御、存、をとい加んぼた祭来すてせ集すいい親といす持私程をろた。分元
守真じど引なたさ様くこに事。親てい。たた神めたがち共はつとい。教の
護のまんきりだせに。と生が。神いし御だお様奉だ、場は、けしと。会神
の陽すな締まきて続斉で横あ。様た道前きつの仕いそ、。誠てての。長・
程気。中めしまいく活す濱り。にだのに、と心者たの立日に、こ思。佐実
をぐ何もつたした会動。かま。もき子は十めと参定中場々あ陽の召。々々
、ら卒明つ。ただ、日あらし。おまど種一を。一拝めにの親り気世か。木神
一しこる、こ。け災。り十た。勇すも々月真つ者の今御心がぐのら。宏、
同世のい起の教ま救やが名。み真達のの剣に一日日用にたら表、久親

胡弓	三味線	小琴	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぼん	笛	ておどり	役割	献饌	指図	賛者	扨者	祭主
			佐々木千鶴	佐々木崇徳		勝田好子	佐々木佑人	佐々木和代	会々々木邦明	座りづとめ	佐々木邦明	佐々木崇徳	佐々木雅敏	会々々木雅敏
			前会長夫人	佐々木佑人		勝田好子	佐々木崇徳	佐々木千鶴	会々々木邦明	前		佐々木佑人	比企靖章	
			前会長夫人	真下育久		勝田好子	佐々木雅敏	佐々木和代	会々々木邦明	後	佐々木佑人	比企靖章	佐々木雅敏	伝供

祭典役割

編集 後記

みなさんこんにちは。

秋もとことん深まり、やっと

懐かしい冬の清々しさが戻ってまいりました。皆さん体調を崩されてはいませんか？私は余計な脂肪や肉がそぎ落とされたお陰で、例年にも増して寒さが身に堪えて今にも縮こまって無くなってしまうそうです。

最近、言葉一つが大事ななあと思う、何かにつけて「親神様、おやさまありがとうございます」と口にするようにしています。すると、さっきまでは感謝の心なんてサラサラなかったのに、どこからやってきたのかわからない感謝の心が自分の心

に芽生えます。

そして、その感謝の心というのが神様へ向けての感謝にとどまらず、同時に人に対しての感謝の心も自然と湧いてきました。すると、嫌なことを見たりしても、不思議とそれなんだかなだありがたいことなんだと思えるようになってきました。

おやさまが仰つたのに、「内で良くて外で悪い人もあり、内で悪く外で良い人もあるが、腹を立てる、気促癪癪は悪い。言葉一つが肝心。吐く息引く息一つの加減で内々治まる。」とあります。

まだまだ、神様へ感謝の言葉を出すだけで、人に対して感謝の言葉や励ましの言葉、気にか

ける言葉は喉に突つかかて出ないことが多いですが、ぼちぼちと増やしていき、「ありがたい」で溢れた日常を送れたらいいなと思います。

今年も残りわずかとなり、新年が近づいてまいりました。新年の初つ端に「親神様、おやさまありがとうございます」と言葉に出し、感謝の心でスタートを切るためにも、ぜひ元日は教会へ初詣にお越しください。

本年も皆さんに大変お世話になりました。迎える一年が皆さんにとって実りのある年になるようお祈り申し上げます。

佐々木 佑人